

# NACSIS-CAT/ILL

## ニュースレター

国立情報学研究所 12号  
2003. 9.12

### Contents

- |   |    |
|---|----|
| 1. 大学図書館等関連事業説明会 (NII Library Week 2003) の開催      | 2  |
| (NACSIS-CAT)                                      |    |
| 2. NACSIS-CAT 和雑誌データ所蔵レコード更新作業の進捗状況               | 3  |
| 3. RLG参照ファイルの運用について                               | 4  |
| 4. KORMARCの導入                                     | 4  |
| 5. アラビア文字資料の既存レコード本タイトルの修正                        | 5  |
| 6. 参加組織レコードのヨミの修正                                 | 5  |
| 7. 平成15年度第2回レコード調整連絡のお知らせ                         | 6  |
| (NACSIS-ILL)                                      |    |
| 8. グローバルILL現物貸借サービスの開始                            | 7  |
| 9. 「ILLシステム操作マニュアル」(第5版)の訂正                       | 7  |
| (その他)   |    |
| 10. メタデータ・データベース共同構築事業<br>データ一括アップロード・ダウンロードの運用開始 | 8  |
| 11. 会議開催報告(平成15年7月~8月)                            | 11 |
| (付録)  |    |
| ● コーディングマニュアル(付録1.1 資料種別コード表 変更分)                 |    |
| ● コーディングマニュアル(付録1.7 その他のコード表 変更分)                 |    |
| ● コーディングマニュアル(和漢古書に関する抜粋集)(差替分)                   |    |
| ● ILLシステム操作マニュアル第5版(訂正分)                          |    |
| ● 大学図書館等関連事業説明会 (NII Library Week 2003) 申込書       |    |

本誌は、次のホームページでも公開しています。  
<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

**NII** 国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

コンテンツ課-コンテンツ形成管理係 TEL.03-4212-2355,2356 FAX.03-4212-2375

文字情報係 TEL.03-4212-2360,2361 同上

計量情報係 TEL.03-4212-2365,2366 同上

企画調整課-共同利用係 TEL.03-4212-2225 FAX.03-4212-2230

情報基盤整備係 TEL.03-4212-2220 同上

成果普及課-専門研修係 TEL.03-4212-2175 FAX.03-4212-2180

## 大学図書館等関連事業説明会（NII Library Week 2003）の開催

国立情報学研究所が大学図書館等と連携して推進する各種事業についての説明会を、平成 15 年 9 月から 10 月にかけて全国 5 か所にて開催します。本説明会は、従来の新 CAT/ILL 説明会、学総目全国調査説明会、メタデータ・データベース共同構築事業説明会を統合するものです。多くの方の御来場をお待ちします。

### 1. 開催日程

地区・会場	日程
北海道地区 (北海道大学 附属図書館 4 階会議室)	平成 15 年 10 月 10 日(金)
東北・関東地区 (学術総合センター 一橋記念講堂)	平成 15 年 9 月 30 日(火)
中部地区 (名古屋大学 大学院多元数理科学研究科大講義室)	平成 15 年 10 月 7 日(火)
近畿・中国・四国地区 (キャンパスプラザ京都(京都駅前))	平成 15 年 10 月 3 日(金)
九州地区 (九州大学 附属図書館視聴覚ホール)	平成 15 年 10 月 2 日(木)

### 2. 内容(予定)

(午前) 10:00~12:00

1. 国立情報学研究所と大学図書館(全体説明)
2. GeNii(NII 学術コンテンツ・ポータル)の紹介
3. NII-REO(NII 電子ジャーナル・リポジトリ)の紹介
4. 研究紀要公開支援事業の紹介~NII による研究紀要電子化

(午後) 13:30~17:00

5. メタデータ・データベース共同構築事業の紹介
6. 目録所在情報サービス~目録品質管理・ILL 文献複写等料金相殺サービス
7. 目録所在情報サービス~和雑誌データ所蔵レコード更新(学総目全国調査)

### 3. 申込方法等

下記よりお申し込みください。

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/nlw2003/nlw\\_2003\\_entry.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/nlw2003/nlw_2003_entry.html)

上によることができない場合は、添付の参加申込書により、次の宛先へ郵送か FAX でお申し込みください。複数で参加の場合は参加人数を記入するか、申込書をコピーしてお使いください。

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

国立情報学研究所 開発・事業部コンテンツ課 NLW2003 担当 宛

FAX: 03-4212-2375

- ・ 午前の部および午後の部のいずれか一方のみの参加も可能です。
- ・ 地区割りは目安ですので、所属機関の地区以外の会場への申込みも可能です。
- ・ 希望どおり参加いただける場合は、特にこちらから連絡はしません。当日会場に直接お越しください。
- ・ 会場の都合で人数の調整をさせていただく場合がありますので、御了承ください。
- ・ 会場の場所については、NIIのホームページ(下記)で確認できます。なお、各会場とも自動車での来場は御遠慮ください。

大学図書館等関連事業説明会～NII Library Week 2003

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nlw\\_2003\\_index.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/nlw_2003_index.html)

(コンテンツ形成管理係)

## NACSIS-CAT 和雑誌データ所蔵レコード更新作業の進捗状況

平成 15 年 10 月からの NACSIS-CAT 和雑誌データ所蔵レコード更新作業は、平成 16 年 3 月末までのデータ更新作業が完了するように、作業を進めてください。御協力よろしく申し上げます。

### 1. 参加状況

データ更新方式別の参加状況は、次のようになっています。

データ更新方式	今回	前回(欧文編 2002 年版)
オンライン(目録システム)*	992 (72.1%)	1,023 (77.8%)
オンライン(WebUIP)	266 (19.3%)	170 (12.9%)
データ送付(前回は磁気テープ)	65 (4.7%)	43 (3.2%)
データシート	51 (3.7%)	80 (6.1%)
その他	1 (0.1%)	2 (0.1%)
計	1,375 館	1,318 館

\* 自動登録システムの利用を含む

目録システムを利用したオンライン方式と WebUIP 方式を合わせたオンライン方式で、全体の 9 割を超えています。また、前回に比べて、約 60 館の参加が増えました。

### 2. 書誌レコード修正作業に伴う情報源送付のお願い

各図書館のデータ更新作業と並行して、NII では、データ内容に下記のような不備のある雑誌書誌レコードの修正作業を実施しています。

(修正作業の対象となる書誌レコード)

- ・ 出版事項 (PUB) の記述に不備があるもの、または記述がないもの。
- ・ 記述根拠号を示す注記 (NOTE) の記述に不備があるもの、または記述がないもの。
- ・ タイトルの言語 (TTLL), 本文の言語 (TXTL) の記述がないもの。
- ・ 巻次年月次 (VLYR) の記述に不備があるもの。
- ・ その他

修正作業に必要な確認のために、記述根拠号を所蔵する参加館に対して、情報源の送付を依頼しています。依頼件数が多くなる場合もありますが、総合目録データベースの品質向上のため、御理解・御協力よろしく申し上げます。

(文字情報係)

## RLG 参照ファイルの運用について

平成 14 年 6 月の RLG (The Research Libraries Group, Inc) 参照ファイルの提供開始から 1 年余りが経過しました。利用状況を調査したところ、「RLG データベース利用のガイドライン」に則さないと思われる利用が確認されています。

参照ファイルは総合目録データベースへの書誌登録を支援するために提供されているものです。特に RLG 参照ファイルにおいては、総合目録データベースへの登録を予定せずに検索・ダウンロード等を行いますと、利用契約に抵触します。また RLG 参照ファイルの利用回数には契約上の上限がありますので、その点からも、利用にあたっては上記のガイドラインを遵守していただく必要があります。

参加館においては、参照ファイルの利用についてあらためて原則を確認するとともに、十分留意した上で利用するようお願いします。

また、各々でお使いのクライアントシステムで、レコード登録の際に SOURCE フィールド(元レコード種類)に「RLG」等のコードが正しくセットされることを御確認ください。

RLG データベース利用のガイドライン

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat\\_info\\_z3950\\_rlg.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_info_z3950_rlg.html)

(コンテンツ形成管理係)

## KORMARC の導入

本誌 11 号でお知らせしました KORMARC の導入について、平成 15 年 7 月 19 日にデータベースへの格納作業を完了しました。現在、525,490 件が利用可能です。

(文字情報係)

## アラビア文字資料の既存レコード本タイトルの修正

本誌 11 号でお知らせしたように、アラビア文字資料の書誌登録の運用に伴い、翻字で入力されていた既存レコードの本タイトル (TR) について、アラビア文字への置換を実施しました。また、従来の翻字形タイトルは、アラビア文字資料の運用基準にそって TRVR(その他のヨミ)フィールドに移しました。

対象となった書誌レコード件数は 17,556 件です。対象の書誌レコード ID 一覧は下記 URL を参照してください。

[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat\\_stat\\_arabia.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/ncat_stat_arabia.html)

(コンテンツ形成管理係)

## 参加組織レコードのヨミの修正について

参加組織レコードには、参加組織名称ヨミ (NAMER) および参加組織略称ヨミ (RYAKUR) のフィールドがあり、NACSIS-CAT への参加登録時に各組織からの申請内容にもとづいて NII で付与しています。

これらのヨミで促音・拗音等は正規化していましたが、“NACSIS Webcat” 英語版簡略一覧ページでローマ字化される所蔵館略称をより正確に反映するため、元データとなる参加組織レコードのヨミには促音・拗音等をそのまま反映させるよう、平成 15 年 10 月から NII で順次修正する予定です。

本誌本号でお知らせしている、平成 15 年度第 2 回レコード調整発送時に調査用紙を同封しますので、ローカルシステム等で影響がないか確認の上、御回答をお願いします。

(例)

参加組織番号 (ID): FA012943

参加組織名称 (NAME): 国立情報学研究所

参加組織略称 (RYAKU): 情報研

参加組織名称ヨミ (NAMER): コクリツジヨウホウガクケンキユウジヨ

修正後: コクリツジヨウホウガクケンキユウジヨ

参加組織略称ヨミ (RYAKUR): ジヨウホウケン

修正後: ジヨウホウケン

NACSIS Webcat ローマ字化略称: JIYOUHOUKEN

修正後 : JOUHOUKEN

(コンテンツ形成管理係)

## 平成 15 年度第 2 回レコード調整の発送

平成 15 年 9 月に、平成 15 年度第 2 回レコード調整連絡を関係各館に送付します。  
連絡リストが到着の際は、内容を確認の上、すみやかに処理くださるようお願いします。

(コンテンツ形成管理係)

## グローバル ILL 現物貸借サービスの開始

平成 15 年 8 月 1 日から、グローバル ILL 現物貸借サービスの正式運用が開始されました。グローバル ILL とは、NACSIS-ILL システムと OCLC 等の海外 ILL システムとの接続(「ILL システム間リンク」)を通じた国際的な ILL 業務のことです。従来、グローバル ILL 参加館間の ILL 業務は、文献複写サービスに限定されていましたが、このたび全ての ILL 業務を正式に行えるようになりました。

これは、7 月 1 日に東京大学で開催された日米間ドキュメントデリバリーサービス評価会議において、日米の大学図書館間で正式運用開始の合意に達したことを受けたものです。

なお、9 月 2 日時点の現物貸借サービス参加館数は、日本側 32 館、北米側 17 館です。参加については、GIF (Global ILL Framework) プロジェクトのホームページ

<http://www.libra.titech.ac.jp/GIF/>

及び以下の URL を御参照ください。

<http://www.libra.titech.ac.jp/GIF/book-loan-start.html>

(計量情報係)

## 「ILL システム操作マニュアル」(第 5 版)の訂正

ILL システム操作マニュアル(第 5 版)に訂正があります。本号付録「ILL システム操作マニュアル(第 5 版)の訂正」と差し替えて御利用ください。

(計量情報係)

## メタデータ・データベース共同構築事業 データ一括アップロード・ダウンロードの運用開始

これまで、メタデータ・データベースの構築は、各参加機関のデータ作成担当者による個別のデータ入力に負っておりましたが、このほど、一括的なデータ交換(アップロード及びダウンロード)が可能となりました。

これにより、直接データ入力を行うのではなく、各参加機関側で独自にデータベース構築を推進し、派生的に NII メタデータ・データベースへのデータ提供を行うといった運用が可能となります。一括的なデータ交換の対象としては、メタデータ・データベース共同構築事業のデータ収録対象に沿う、下記のようなデータベースを想定しています。

- ・ 学術機関リポジトリ<sup>1</sup>
- ・ 電子化貴重資料データベース
- ・ 電子教材リポジトリ

また、NII メタデータ・データベースに蓄積されたデータについても、自由に一括ダウンロードすることが可能になっていますので、各参加機関の情報サービス構築にお役立てください。

### 1. 概要

一括アップロード・ダウンロードは「OAI メタデータ・ハーベスティング・プロトコル (OAI-PMH)」という通信規約に基づく全自動定期更新によって行います。また、OAI-PMH 対応のデータベースシステムを持たない参加機関はデータファイルの送付による一括アップロードも可能です。

方式等		概要
アップロード	OAI-PMH (全自動)	参加機関側システム(リポジトリ)から、NII が定期的にデータの自動収集を行います。OAI-PMH 準拠のシステム構築、または、既存システムの OAI-PMH 対応が必要です。(技術資料 )
	ファイル送付	既存データをタブ区切りテキストファイルの形で NII に送付することにより、データを一括アップロードします。(技術資料 )
ダウンロード	OAI-PMH (全自動)	NII メタデータ・データベースから、参加機関はデータの自動収集を行うことができます。OAI-PMH 準拠のハーベスティング機能を備えたデータ処理システムの開発が必要です。(技術資料 )
	WWW ブラウザ使用	WWW ブラウザで検索条件を指定して NII メタデータ・データベースに接続することにより、データを一括ダウンロードします。(技術資料 )

### 2. OAIメタデータ・ハーベスティング・プロトコルについて

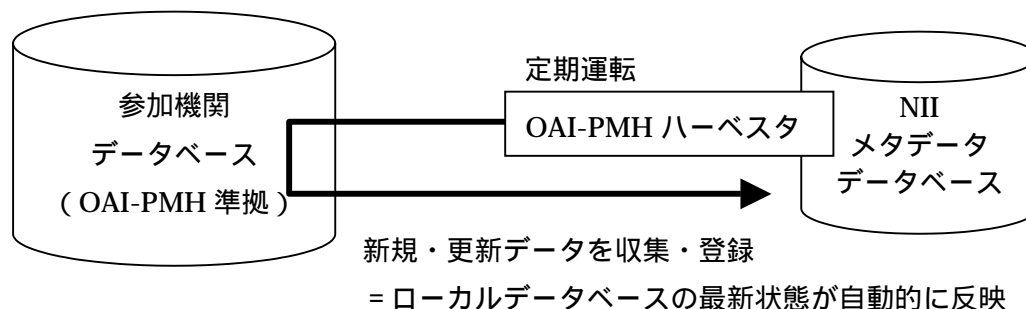
OAI-PMH は、メタデータの交換のために Open Archives Initiative によって開発が進められ

<sup>1</sup> 大学で生産された電子的な知的生産物を捕捉し、保存し、原則的に無償で発信するためのインターネット上の保存書庫。学術機関リポジトリに含まれるコンテンツとしては、学術雑誌掲載論文、灰色文献(プレプリント、ワーキングペーパー、テクニカルペーパー、会議発表論文、紀要、技術文書、調査報告等)、学位論文、教材などが挙げられる。

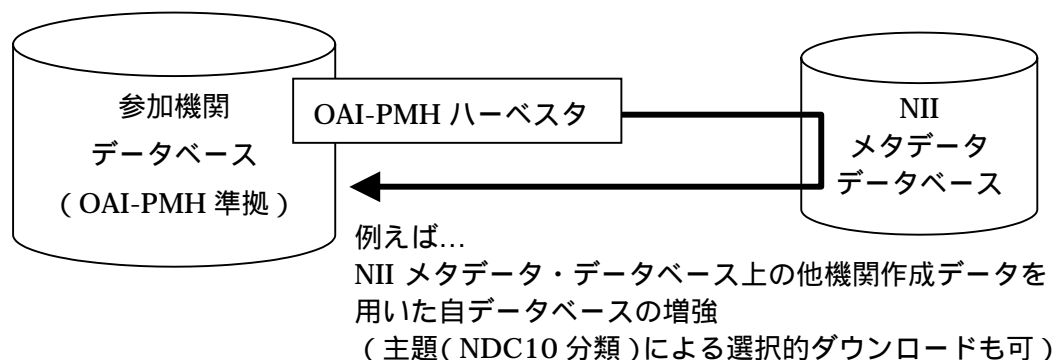


ている通信規約です。NII メタデータ・データベース共同構築事業では、平成 15 年 8 月時点での最新バージョンである 2.0 を用います。参加機関は、独自のデータベースを構築する際に OAI-PMH を適用することにより、NII のメタデータ・データベースとの自動的なデータ交換を行うことが可能となります。

(OAI-PMH によるデータ一括アップロード)



(OAI-PMH によるデータ一括ダウンロード)



OAI-PMH では、ネットワークを介してデータを一括して取得することを、農作物の収穫になぞらえ、「刈り取る」(ハーベスティング)と呼んでいます。OAI-PMH は、OAI-PMH によるデータ提供をサポートするサーバから一括してメタデータを刈り取るために用いられます。刈り取る側のクライアントソフトウェアをハーベスタ、刈り取られる側のサーバをリポジトリと言います。NII は参加機関側リポジトリ内のデータを刈り取り (参加機関から見てアップロードにあたる)、また、参加機関は NII 側リポジトリ (NII メタデータ・データベース) 内のデータを刈り取ることができます。

OAI-PMH についての詳細は技術資料を御参照ください。なお、OAI-PMH によるハーベスティングは、WWW の仕組み (HTTP) 上で行われるので、WWW ブラウザも簡易なハーベスタとして使用できます。

(技術資料)

OAI-PMH の NII メタデータ・データベースへの適用について  
<http://www.nii.ac.jp/metadata/oai-pmh/>

OAI-PMH2.0 日本語訳

<http://www.nii.ac.jp/metadata/oai-pmh2.0/>

タブ区切りテキストファイルによるデータ一括アップロード

<http://www.nii.ac.jp/metadata/oai-pmh/tsv.html>

WWW ブラウザでできるメタデータ・ハーベスティング

[http://www.nii.ac.jp/metadata/oai-pmh/quick\\_access.html](http://www.nii.ac.jp/metadata/oai-pmh/quick_access.html)

3 . 手続き等

一括アップロード

方式等を検討の上，下記照会先にお知らせください。

一括ダウンロード

手続き等は必要ありません。

また，加工・二次使用等に係る制限はありませんので，自由に御活用ください。

本件に関する照会先

コンテンツ課文字情報係 (metadb@nii.ac.jp)

(文字情報係)

## 会議開催報告（平成 15 年 7 月～8 月）

平成 15 年度 第 1 回 図書館情報委員会

[日時]

平成 15 年 7 月 4 日（金） 10:00-12:00

[場所]

国立情報学研究所 12 階会議室

[議事]

1. 目録所在情報サービスの現況について
2. 平成 15 年遡及入力支援事業について

（コンテンツ形成管理係）

(付録) コーディングマニュアル 付録 1.1 資料種別コード表(変更分)

付録 1 . 1 資料種別コード表

〔コード表〕

以下では、左欄に、コードのアルファベット順に一般資料種別コードを示す。右欄には、それぞれの一般資料種別コードに対応する特定資料種別コードを示す。

コード	一般資料種別	コード	特定資料種別
なし	下記のいずれでもないもの	なし l t	下記のいずれでもないもの 大活字本 (large print) 触知資料 (tactil)
a	地図資料 (cartographic material)	a b c g j k q r s y z	天体儀 (celestial globe) 惑星儀 / 月球儀 (planetary or lunar globe) 地球儀 (terrestrial globe) ダイアグラム (diagram) 地図 (map) 側面図(profile) 模型 (model) リモート・センシング画像 (remote-sensing image) 断面図 (section) 景観図 (view) 上記のいずれでもないもの
b	文字資料 (点字) (braille)	なし	
c	楽譜 (印刷) (printed music)	a b c d e g h m u z	スコア (full score) ミニチュアスコア (full score, miniature or study size) 鍵盤楽器伴奏譜 (accompaniment reduced for keyboard) ヴォイススコア (voice score) コンデンススコア / ピアノコンダクタースコア (condensed score or piano-conductor score) クローズスコア (close score) 邦楽譜 複合形態の楽譜 (multiple score format) 不明 (unknown) 上記のいずれでもないもの (other than score format)

〔コード表〕(続)

コード	一般資料種別	コード	特定資料種別
d	文字資料(書写資料) (manuscript text)		GMD「なし」に対応するSMDのうち適切なコードを用いる
e	地図(書写資料) (manuscript map)		GMD「a」に対応するSMDのうち適切なコードを用いる
f	楽譜(書写資料) (manuscript music)		GMD「c」に対応するSMDのうち適切なコードを用いる
g	静止画像(投影) (projected graphic)	c d f o s t z	フィルムストリップ(カートリッジ) (filmstrip cartridge) フィルムストリップ(filmstrip) フィルムストリップ(その他) (other filmstrip type) フィルムストリップ(ロール)(filmstrip roll) スライド(slide) トランスペアレンシー(transparency) 上記のいずれでもないもの
h	マイクロ形態(microform)	a b c d e f g z	アパチャー・カード(aperture card) マイクロフィルム(カートリッジ) (microfilm cartridge) マイクロフィルム(カセット) (microfilm cassette) マイクロフィルム(リール)(microfilm reel) マイクロフィッシュ(microfiche) マイクロフィッシュ(カセット) (microfiche cassette) マイクロオパーク(microopaque) 上記のいずれでもないもの
k	静止画像(非投影) (nonprojected graphic)	c d e f g h i	コラージュ(collage) 図画(drawing) 絵画(painting) 写真製版画(photomechanical print) ネガ(photonegative) 写真印画(photoprint) 画(picture)

変更

(付録) コーディングマニュアル 付録 1.7 その他のコード表(変更分)

## 〔複製コード表〕

以下では、目録対象資料が複製であるかどうかを表すコードを示す。

コード	複製であるかどうか
c	目録対象資料は複製物である
なし	目録対象資料は複製物ではない

## 〔番号の種類コード表〕

以下では、コードのアルファベット順に番号の種類コードを示す。

コード	番号の種類
CODEN	CODEN
GPO	標準テクニカルレポート番号
GPON	GPO番号
ISMN	国際標準音譜番号 (International Standard Music Number)
ISRC	国際標準録音資料コード (International Standard Recording Code)
ISSN	国際標準逐次刊行物番号 (International Standard Serial Number)
JLA	JLA番号
KAKEN	研究課題番号(科学研究費補助金)
LANO	録音資料の発行者番号 (label number/issue number)
LCCN	LCカード番号
NBN	全国書誌番号
MUNO	楽譜の番号 (プレート番号か出版者番号か不明の番号)
NCID	総合目録データベース書誌レコードID
NDLCN	NDLカード番号
NDLPN	NDL雑誌番号
PLNO	楽譜のプレート番号 (plate number)
PUNO	楽譜等の出版者番号 (publisher's number)
TRC	TRCMARC番号
UPC	ULP番号 録音資料、映像資料の国際商品コード
VMN	(Universai Product Code) 映像資料の発行者番号

追加



## 〔構造の種類コード表〕

以下では、コードのアルファベット順に構造の種類コードを示す。

コード	構 造 の 種 類
a	当該書誌単位と直下の書誌単位の関係は「シリーズ」である
b	当該書誌単位と直下の書誌単位の関係は「セット」である

## 〔変遷タイプコード表〕

以下では、コードのアルファベット順に変遷タイプコードを示す。

コード	変遷タイプ
A F	吸収前誌
A S	吸収後誌
C F	継続前誌
C S	継続後誌
S F	派生前誌
S S	派生後誌
? F	前誌（変遷関係不明）

## 〔主記入フラグコード表〕

以下では、著者標目又は統一タイトル標目が基本記入の標目であるかどうかを表すコードを示す。

コード	著者標目又は統一タイトル標目の種類
*	当該標目は基本記入の標目である
なし	当該標目は副出記入の標目であるか、又は等価標目である

(付録) コーディングマニュアル (和漢古書に関する抜粋集) (差替分)

### 通則に関する注記

タイトルについては、巻頭以外を情報源とした場合には、その情報源を示す。また、各書誌的事項において、識語及び後補書入を情報源とした場合には、その旨を記録する。その他、各書誌的事項において、必要があるときも、その情報源を示す。

タイトルに誤表示や脱字がある場合は、検索に支障のないよう、正しい形及び誤って表示された形をVTフィールドに記録することができる。また、NOTEフィールドにその旨を記録する。

転記の原則に従えない事情がある場合には、何らかの方法によって表現し、NOTEフィールドにその旨を記録する。

### 書誌学的通称名、本文の系統等に関する注記

書誌学的な立場での、特徴、性質等を示す通称名がある場合は記録する。例えば、和古書の場合には、春日版、伏見版、古活字本、丹緑本、奈良絵本等、また漢籍の場合には、宋版、蒙古刊本等を記録する。

本文の系統等(原刻本、流布本、別本、定家本、等)、当該資料を特定できる情報がある場合は、必要に応じて記録する。

### タイトルに関する注記

和漢古書の場合には、記述対象資料中のどこにも本タイトルがない場合は、適切な情報源による本タイトルか、目録作成者が決定した簡潔で説明的な本タイトルを補記する。本タイトルを目録作成者が決定した場合には、NOTEフィールドにその旨を記録する。また、本タイトルを記述対象資料中の巻頭以外からとった場合にも、NOTEフィールドにその情報源を示す。

(例) TR: [諸国産物絵図帳]

NOTE: 本タイトルは目録作成者による

(例) TR: 伊曾保物語

NOTE: 本タイトルは序首より

題簽・外題については、必要に応じて転記する。その位置や様式(絵題簽、目録題簽、等)なども記録できる。また、刊本における書き題簽・書き外題、写本における刷り題簽、後補であることが判明した場合等は、その旨を記録できる。

(例) NOTE: 題簽左肩双边黄紙「新版絵入 花色紙襲詞」(「新版絵入」は角書)

NOTE: 題簽中央後補墨書「焦尾琴 風」

NOTE: 外題左肩後補墨書「平家物語巻第一(～十二)」

記述対象資料中の各所に表示されたタイトルをVTフィールドに記録する場合、タイトルの種類コード「OH(その他のタイトル)」とともに記録し、同時にその表示箇所についての説明をNOTEフィールドに記録する。

(例) TR: 洛陽名所集

VT: OH: 山城名所記

NOTE: 題簽の書名: 山城名所記

### 責任表示に関する注記

記述対象資料中に、責任表示に相当する表示がないとき、記述対象資料以外の何らかの情報源から得られた場合にはそれを補記し、必要があるときはその情報源をNOTEフィールドに記録する。また、記述対象資料中の識語及び後補書入を情報源とした場合には、NOTEフィールドにその旨を記録する。

## 出版に関する注記

蔵版者等について記録する。魁星印、蔵版印、版元印についても、必要に応じて記録する。

(例) NOTE:見返しに「江戸書林 青藜閣蔵版」とあり

NOTE:刊記中「江戸 須原屋伊八」に蔵版印あり

書写者に書写を命じた依頼者などが判明した場合は、必要に応じて情報を記録する。

広告、蔵版目録や、記述対象資料に捺印された発行印(出版者標章のようなものも含む)などから採録した出版者については、情報源を記録する。

記述対象資料によるべき情報源がない場合、あるいは資料に表示されている出版・書写に関わる情報が記録するのにふさわしくない場合は、可能であれば参考資料等を調査して記録する。記述対象資料以外からの情報は、角括弧([ ])に入れて補記し、参考資料としたものについて必要があるときは NOTE フィールドに記録する。

出版事項の主な典拠である刊記・奥書等を、必要に応じて転記する。

(例) NOTE:刊記に「寛文三稔癸卯 長尾平兵衛開板」とあり

初刷でないことは明らかだが、印行年(刷年)が不明な場合は、「後印本」と記録する。

(例) NOTE:後印本

後修本であるのが明らかである場合は、記録する。

(例) NOTE:後修本

覆刻本であるのが明らかである場合は、記録する。

(例) NOTE:覆刻本

出版年などが干支による表記で、相当する元号と年数による紀年に読み替えができない場合は、推定による補記または出版年不明の扱いとし、干支による表記は NOTE フィールドに記録する。

(例) PUB:[出版地不明] : [出版者不明] , [江戸中期]

NOTE:甲辰序

## 版式(版面)に関する注記

匡廓、界線について、必要に応じて記録する。

行字数について、必要に応じて記録する。

版心(魚尾、黒口、等)について、必要に応じて記録する。

(例) NOTE:四周単辺有界 8 行 18 字、双魚尾

## 巻冊次と残欠の注記

残欠の状況を記録する。丁単位、表紙等の欠について記入してもよい。

(例) NOTE:存巻 疏下・牒下

NOTE:巻二十四第 20 丁は重複

NOTE:巻一・三に目録なし。巻一初丁表, 巻六第 13 丁裏以降を欠く

VOL フィールドに記録しなかった巻冊次は NOTE フィールドに記録する。

(例) NOTE:題籤による冊次: 巻之 1-5: 乾、巻之 6-10: 坤

(付録) ILL システム操作マニュアル第 5 版 (訂正分)

## 8.2 利用するまでの手続き

BLDSCを利用するために必要な手続きについて説明する。

### BLDSCへの利用者登録申請

BLDSCへの依頼機能を利用するためには、あらかじめ各依頼館がBLDSCに利用登録申請を行い、カスタマー・コードとパスワードを取得する必要がある（これにより、NACSIS-ILL経由の依頼を、ARTTel2でBLDSCに転送できるようになる）。  
利用料金の支払いに関しては、代理店に問い合わせる。

### 貸借サービス

別途利用者登録が必要なので、代理店を通じて登録手続きを行うこと。

### CFPPS

BLDSCでは著作権を処理するサービス"Copyright Fee Paid Photocopy Service (CFPPS)"を行っており、「雑誌の同一号から複数論文を依頼する」といった、通常は著作権法上コピーできないものもコピーが可能になる。  
別途利用者登録が必要なので、代理店を通じて登録手続きを行うこと。

### FAXBACKサービス

通常の航空便による文献複写の取り寄せ以外に、BLDSCでは複写資料をFAXで送付するサービス"FAXBACK Service"を行っている。  
このサービスを利用する場合には、別途BLDSCのメッセージ・キーワード・コードが必要である。  
詳しくは代理店に問い合わせること。

### 取り扱い代理店

BLDSCへの利用登録申請は、以下の2代理店が取り扱っている（2002年2月現在）。

株式会社紀伊國屋書店  
丸善株式会社

### 参加組織レコードの修正

ILLシステムを通してBLDSCへ依頼をする場合は、代理店を通じてBLDSCのカスタマーコード及びパスワードを取得した後、参加組織レコードにBLDSCのカスタマーコードとパスワードを入力し保存する。



#### 参加組織レコードの修正方法

修正方法は、「10.2 自館の参加組織レコードを修正する」を参照のこと。  
参照：p.160「BLDSCフィールドとNDLフィールド」

#### 注意

- カスタマーコード、パスワードが正しく記述されていない場合は、依頼を行ってもエラーになる。
- BLDSCフィールドの繰り返しはできない。カスタマーコードを2つ以上持っている場合は、どれか一つを入力する（参照：p.127「カスタマーコードの使い分けにおける注意点」）。
- カスタマーコードとパスワードは、各参加組織の責任で管理する。

# 大学図書館等関連事業説明会（NII Library Week 2003）申込書

## FAX:03-4212-2375

国立情報学研究所開発・事業部コンテンツ課 NLW2003 担当 宛

平成 15 年 月 日申込

機関	
所属	
氏名	
電子メールアドレス	
電話番号	( 内線 )
FAX 番号	
希望会場 等	御希望の会場にチェックしてください。 10月10日(金) 北海道地区会場 9月30日(火) 東北・関東地区会場 10月7日(火) 中部地区会場 10月3日(金) 近畿・中国・四国地区会場 10月2日(木) 九州地区会場
	参加希望の内容についてチェックしてください。 全日参加する 午前のみ参加する 午後のみ参加する
参加人数 ( )	名

課，係等を取りまとめて代表者が申し込む場合は，参加者の合計人数（本人も含む）を記入してください。通常の申込みの方は空欄のままで結構です。

研究所記入欄	
--------	--